

2017年5月11日

報道関係各位

株式会社サンケイビル



「大手町」駅 徒歩5分 基準階約200坪ミッドサイズオフィス

『S-GATE大手町北』竣工

株式会社サンケイビル（本社：東京都千代田区大手町、代表取締役社長 飯島一暢）が開発を進めて参りましたハイグレードミッドサイズオフィスビル「S-GATE 大手町北」が、5月1日に竣工いたしましたのでお知らせします。

本物件は、企業経営者の想い、働く人の声、訪れる人の気持ちを考えて、「快適性」「安心・安全・環境性」「BCP対策」「ソフト面のテナントサービス」などを充実させ、成長企業のニーズに応えられるよう、デザイン、スペック、サービス水準を統一化して開発・運営するミッドサイズオフィスビル「S-GATE」シリーズで、「S-GATE 赤坂」（2015年7月竣工）、「S-GATE 赤坂山王」（2016年11工）に続く第三号物件です。初の試みとして、テナントの皆様にご利用いただける「S-GATE LOUNGE」を2階の一部区画に設置。また「S-GATE CONCEPT ROOM」を併設し S-GATE に関する情報を発信していく空間としても運営して参ります。

今後もビル事業のポートフォリオ拡充のため、「S-GATE」のシリーズ化を推進して参ります。



外観写真

■開放感と機能性を高めるアウトフレームのオフィス空間

オフィス空間は、アウトフレーム構造の採用により、完全無柱空間を実現。オフィスとしての効率的な利用と、レイアウトの自由度を向上。



基準階 執務室

■ビジネスを支える、安心の電源供給・耐震構造により BCP を強力にバックアップ

新耐震基準 1.25 倍相当の強度を採用。異系統 2 回線受電方式、非常用発電機を実装(専有部に供給可能)することで、テナントの BCP をバックアップ。また各階に防災備蓄倉庫を設け、非常時に使える防災備蓄品をサービスとして提供します。

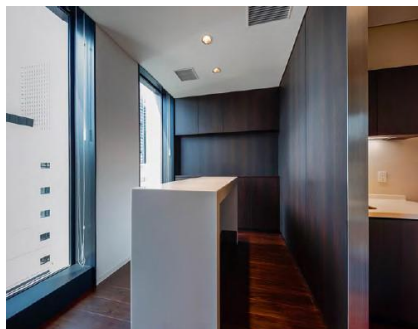


耐震性

2 回線受電

■オフィスワーカーをサポートする、細やかな快適性への配慮

リフレッシュコーナー、緑化を施した開放感あふれる屋上テラスを設置し、コミュニケーションスペースを充実。エントランスホールには壁面緑化を設置し安らぎと環境配慮を実現。



リフレッシュコーナー



エントランス

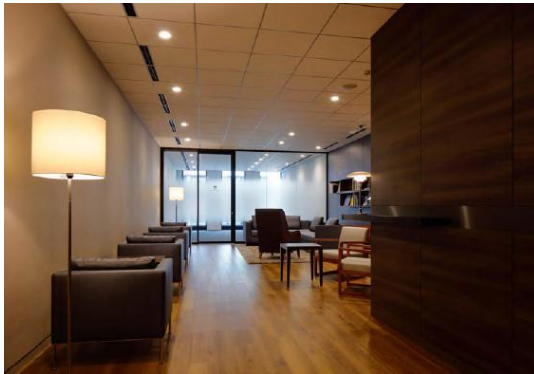


屋上テラス

■テナントが利用できるラグジュアリーな空間と S-GATE の情報を発信する空間

2Fの一部区画にラグジュアリーな「S-GATE LOUNGE」を設け、入居テナントの皆様にご利用いただき、フレッシュ&リラクセスして頂く空間を提供します。

また「S-GATE CONCEPT ROOM」を併設し、進化する S-GATE シリーズのコンセプトや最新の仕様をご覧頂ける空間を創って参ります。



S-GATE LOUNGE

アクセス



東京メトロ丸ノ内線・半蔵門線「大手町」駅徒歩 5 分
JR 山手線・中央線・京浜東北線「神田」駅徒歩 4 分
東京メトロ銀座線「神田」駅徒歩 6 分
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅徒歩 7 分
JR 総武快速線「新日本橋」駅徒歩 7 分

 S-GATE とは

S-GATE は、「走り続ける企業に、エネルギーと安らぎを」というブランドビジョンのもと、進化する企業とビジネスパーソンのために「Human Centric な心配りと快適性」「安心・安全・環境性」「BCP」という 3 つの必須要素を充実させた、サンケイビルが展開するミッドサイズオフィスビルシリーズです。「オフィスを選ぶ。ビジネスが変わる。」をキャッチコピーとし、進化し続ける企業のためのオフィスとして、今後も都心 5 区を中心に事業展開して参ります。

公式 HP www.s-gate-office.com

物件概要

名称	S-GATE 大手町北
所在地	東京都千代田区内神田 2 丁目 3 番 4 号
敷地面積	1,013.49 m ² (306.58 坪)
延床面積	8,438.35 m ² (2,552.60 坪)
専有面積	約 5,908 m ² (約 1,787 坪) ※基準階約 663 m ² (約 200 坪)
建物用途	事務所、店舗、駐車場
構造	鉄骨造、地上 10 階、地下 1 階、塔屋 1 階
設計	久米設計・鴻池組設計共同体
施工	株式会社鴻池組
竣工	2017 年 5 月 1 日

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社サンケイビル 広報課

TEL : 03-5542-1313

FAX : 03-5542-1377

【物件に関するお問い合わせ先】

株式会社サンケイビル 資産開発部

TEL : 03-5542-1326

FAX : 03-5542-1366

※本資料の配布先：国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、東京都庁記者クラブ

以上